

高校入試問題のポイント

国語

出題傾向

- 一 漢字の読み書きの問題
- 二 文章読解問題
- 三 文章読解問題
- 四 図表の読み取りの問題

古文・漢文の問題は単独では出題しません。

漢字読み書き

中学までに学習する範囲内の漢字から出題

文章読解

評論文 説明文を題材に二題
文章をよく読み、求められた解答が書けるよう
内容理解できるようにしましょう。

古文・漢文

単独では出題しません。ただし既学習範囲の
知識を問う問題が出ることがあります。

図表

図表やグラフを正確に読み取った上で、自分の意見を記述します。

高校入試問題のポイント

国語

令和六年度 高等学校入試

(国語)

出題内容について

- ・ 漢字の読み書きの問題
- ・ 文章読解問題
- ・ 図表の読み取りの問題

古文・漢文の問題は単独では出題
しません。

漢字の読み書きの問題

- ・ 中学までで学習する範囲内の漢字から出題します。
- ・ 日常的な言葉やニュース・新聞等で目にする機会の多い言葉、受験勉強の過程の中で学習する言葉から意図的に出題しています。

高校入試問題のポイント 国語

文章読解の問題

- ・ 評論文・説明文を題材に二題、出題します。いずれも3000字程度の文章です。
- ・ 読解力と表現力を問う出題の他に、自分の考えや意見を問う問題も出題します。
- ・ 解答の形式は選択、抜き出しの他、ある程度まとまった字数で解答する記述式の問題を意図的に出題します。
- ・ 小説を題材に出題することはありません。
- ・ **古文・漢文の問題**は、単独では出題しません。ただし、一部、古文・漢文の既習範囲の知識を問う問題が出題されることはあります。

図表の問題

- ・ グラフなどの資料を読み取る問題です。
- ・ 読み取ったこと他に、自分の考えを二〇〇字程度で書くことになりま
- す。
- ・ 日ごろから自分の考えや意見を、文章で、論理的に説明できる力を身につける必要があります。

高校入試問題のポイント 数学

出題傾向と対策

1. 奇問や難問は出題しない。一般的な問題集にある基本から標準レベルの典型的な問題をくり返し練習する。
2. 特定の分野に偏らず、広く学習する。
3. 形式や難易度は、千葉県高校入試問題とおおよそ同程度。

大問 1

小問集合（計算問題） 約 10 題

- ・ 正負の数
- ・ 平方根
- ・ 資料の活用
- ・ 文字式
- ・ 方程式
- ・ 確率
- ・ 展開、因数分解
- ・ 関数
- ・ 図形 など各領域での基本問題

高校入試問題のポイント 数学

大問 2

関数

- ・ グラフと図形の融合問題 など

大問 3

平面図形

- ・ 合同や相似の証明（一部記述式）
- ・ 角度、長さ、面積などの計量
- ・ 作図問題は出題しない

大問 4

総合問題

- ・ 数や図形に関する規則性、資料の読み取りなど思考力を問う問題

高校入試問題のポイント 社会

出題傾向・対策

- 大問 5 問 地理が大問 2 つ、歴史が大問 2 つ、公民が大問 1 つ
- 解答形式は、
 - ・ 正答の記号選択
 - ・ 正答の単語解答
 - ・ 誤答の記号選択
 - ・ 説明文中の空欄に、文字指定の単文を作り解答
 - ・ 記述 など
- 原則として、教科書で漢字表記されているものは漢字で解答する。
- 地理分野
 - ・ 都道府県名や世界の国名、地形など正確に名称と位置を覚える。
 - ・ 雨温図や各種統計グラフ、写真などの判読ができるようにしておく。
 - ・ 気候と生活や文化の関連性をよく理解しておく。
 - ・ 記述問題の解答は、きちんとした文章にできるようにしておく。

高校入試問題のポイント 社会

出題傾向・対策

○歴史分野

- ・ 古代から現代まで、教科書を熟読し「流れ」を押さえておく。
- ・ 歴史上の出来事は「発端となった要因」「具体的内容」「その後の影響」までセットで理解しておく。
- ・ 教科書の資料（古文書、図画、遺物など）は、その名称や時代、表現されている内容などを理解しておく。

○公民分野

- ・ 政治分野，経済分野ともに偏りなく学習しておく。
- ・ 法律や条例、条約の名称とその内容は正確に覚えておく。
- ・ 経済分野の統計データは，グラフでも表でも判読できるようにしておく。

高校入試問題のポイント 理科

出題傾向

- 【1】小問集合は、物理・化学・生物・地学の4分野から、それらの基礎的な知識を問う問題。
- 【2】～【9】は、4分野を大問2つずつ設定。図やグラフや表を見ながら実験過程や結果を推論する問題も含む。
- 知識問題
教科書の基本的な用語や公式・化学反応式などの記述。
- 思考問題
主としてグラフの読み取り・計算をし、その理由などを説明する問題。
データ解析と計算。文書による記述。

高校入試問題のポイント 英語

出題傾向

千葉県立高校の入試問題の出題傾向と近くなるように、出題内容や形式難易度を意識して作問しています。試験時間60分(内リスニング15分)、100点。

リスニング問題

- 1 英語の短い対話を聞いて**最後の文に対する受け答えを選ぶ**問題。
- 2 英語の文章または英語の対話を聞いて、それぞれの**内容についての質問に答える（イラストから選ぶ）**問題。
- 3 英語の文章または英語の対話を聞いて、**それぞれの内容についての質問に答える（英語から選ぶ）**問題。
- 4 英語の文章を聞いて、その内容をまとめた英文の空所を補う等の問題。

高校入試問題のポイント 英語

文法問題

文法項目は多岐にわたって、基礎的事項が問われます。慣用表現や、熟語表現の出題もあります。

作文

英作文問題。絵を見て状況を理解し、絵の中の人物の立場に立ってセリフを英語で表現する問題。2コマ目と4コマ目に問を設定。

読解問題

単語、熟語、会話などの基礎を固めたうえで、より多くの長文に慣れ、読むスピードや運用力をつけておくことが大切。長文のレベルは千葉県立よりもやや高く、小問の数も県立より多い。